

外交団を対象にした主な身代金目的誘拐事件

別紙3

発生日時	概要
2012年1月29日 (日) 夕刻	チャカオ市カントリークラブ地区において、当地メキシコ大使夫妻が、館用車で移動中、けん銃で武装したグループに誘拐されました。大使夫妻は、多額の身代金を支払い、翌日の早朝、無事解放される事件が発生しました。
2012年4月8日(日) 午後9時頃から 午後10時頃までの間	スクレ市ラ・ウルビナ地区において、コスタリカ大使館商務官が、自家用車で自宅まで帰ってきたところ、自宅前で車ごと誘拐されました。商務官は翌々日、ミランダ州チャラジャベ地区で解放され、治安当局に保護されましたが、頭部に怪我をする事件が発生しました。
2012年12月10日 (月) 午前0時頃	バルータ市ラス・メルセデス地区において、トルコ大使館外交官が誘拐されましたが、すぐに解放されました。その後、同外交官が所有していた携帯電話を追跡調査し、犯人グループの所在を特定した警察と犯人グループが銃撃戦となりました。
2015年2月中旬頃	カラカス首都圏チャカオ市スクレ市サンタ・エドゥヴィヒス地区において、当地フランス大使館外交官が、早朝、食料品店で買い物の後、駐車場に向かっていたところ、けん銃で武装したグループに誘拐されました。しかし、被害者は、直ぐに解放され、怪我等はありませんでした。
2016年7月31日	カラカス首都圏バルータ市バジェ・アリバ地区において、ロシア大使館外交官が、夕方、一人でジョギングしていたところ、拳銃で武装したグループに誘拐されました。被害者は、1日以上監禁された後、解放されました。
2017年9月18日	カラカス首都圏バルータ市バジェ・アリバ地区において、当地米国大使館の現地職員が、夕方、道路脇に車を止め、人を待っていたところ、拳銃で武装し2台の車両に乗車したグループに誘拐されました。被害者は、1日以上監禁された後、解放されました。